「子どものための学校事務」１０４号

「共同実施」の行き先に 学校になくてはならない 学校事務が見えるのか？

特集テーマ:「共同実施」より「協同実施」―学校に不可欠な事務職員として―

学校事務の「共同実施」を手段として「事務の効率化を図る。学校事務を組織化。事務部門の強化を図る。事務職員の学校経営参画。」と、全国各地で推進されてきました。

学校の自主性・自律性を確立するため、その具体的方策の一つとして「学校事務・業務の共同実施」の推進がもりこまれた1997年の中教審答申。この10年で各地の学校事務の実態は、教育や学校、子どもとの関わりでどうなっているのか。学校に不可欠の学校事務は、何のために、誰とだれとどう「共同」すべきなのか。

目　　次

■「共同実施」の行き先に
　学校に不可欠の学校事務が見えるか
　１．すべての子どもたちにゆきとどいた教育を
　２．なぜ学校事務の「共同実施」なのか
　３．各地での「共同実施」や
　　学校事務の再編成の実態
　４．学校事務職員の働きがいを
　　奪いかねない「共同実施」
　５．子どものための学校事務は
　　「教員の補助労働」ではない

■制度研島根大会　テーマ別学習会C
　よろずやマルチ商会のおしごとレシピ
　　－素敵を知り、己を知るには－
■教育費から考える子どもの未来
　－第 22 回教育財政シンポジウム－
■子どもたちをまん中に、
　親や同僚とつながるとりくみ
　－第 22 回民教連交流集会－
■わたしの「事務だより」37
■おすすめの１冊
　『生きさせる思想』
　（小森陽一・雨宮処凛、新日本出版社）

2009年6月12日発行
A5判　64ページ
500円　（送料160円）

編集・発行　全国学校事務職員制度研究会

注文はこちらへ

■ 神奈川県横浜市立すすき野中学校　植松直人
〒２２５－００２１
神奈川県横浜市青葉区すすき野３－４－３
TEL 045-901-5896 FAX 045-904-2439
■ http://www.bekkoame.ne.jp/ha/seidoken/
（「制度研」で検索できます）
■ E-mail seidoken@ha.bekkoame.ne.jp